



RZ Ecosystem Partner Solution Kakip (カキピー) AI-SBC

株式会社ユリ電気商会



概要

Kakipはルネサスの組み込みAI MPU [RZ/V2H](#)をコアに持つシングルボードコンピュータです。DRP-AI3による強力なAI処理能力とマルチコアプロセッサによる並列処理を小さな基板で実現、豊富なインターフェースも備えているため、エッジAIの検証や開発から、PoC製作時の組込基板としての利用まで、幅広い分野で活用いただくことが可能です。

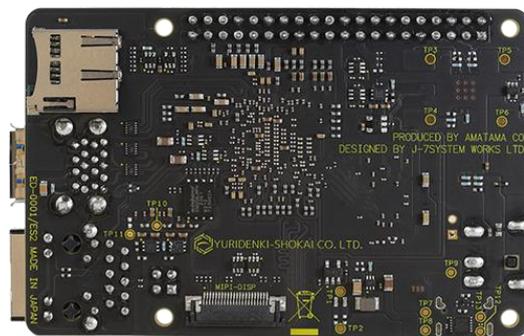
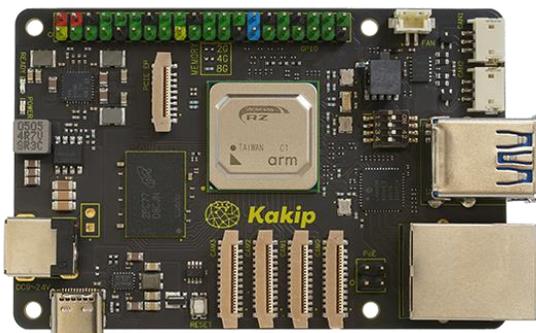
主な機能

- 3種類のCPUコアにLinuxおよびROS2やRTOSの共存などマルチOS構成を構築可能
- DRP-AI3による低消費電力かつ最大80TOPSの強力なAI画像処理性能、DRPによる並行処理
- Ethernet (1000Base-T PoE+), USB3.2 Gen1 x2, CAN-FDx2, SDカードスロットなどを搭載
- MIPI-CSI2 (4Lane) x4系統で最大4chのカメラ入力が可能、MIPI-DSI (4Lane) で表示器に出力
- PCIe x1をエンドポイントとして装備しており、拡張ボードとしての利用も可能
- 業界標準的なGPIOピンヘッダを装備、様々な用途に応じて拡張が可能

ブロック図/ダイアグラム



Kakip



ターゲット市場及び用途

- AMR等の自律型搬送ロボット
- 自律型ドローン
- IoT監視機器
- 工場のビジョンセンサ
- 防犯・監視カメラ(CCTV)
- Rapid Prototype等の研究開発

www.kakip.ai/



株式
会社

ユリ電気商会

Yuridenki-shokai Co. Ltd.

会社概要

ユリ電気商会は2025年に法人設立60周年（創業74年）を迎える、インフラ向けのシステム機器を取り扱う技術商社です。「システムやモノづくりの要石となる」というミッションを掲げ、電波通信機器、電源機器、ネットワーク機器、精密機械製品、CCTV関連機器、筐体・構造物など幅広く扱っており、特に国内外の道路交通システム（ITS）に深く関わっています。昨今は特にITSや物流分野で多くの画像処理システムの開発や量産にも関わるようになり、2023年1月にエンベデッド製品事業部・横浜営業所を開設しました。自社で発信していける製品の取り扱いや自社ブランド製品の開発にも範囲を広げて積極的に活動しており、分光技術やAIを駆使した画像処理分野でも「要石」となっていけるよう企業活動を行っております。



株式
会社 ユリ電気商会

Yuridenki-shokai Co. Ltd.

会社名 株式会社ユリ電気商会

代表取締役 木内 正人

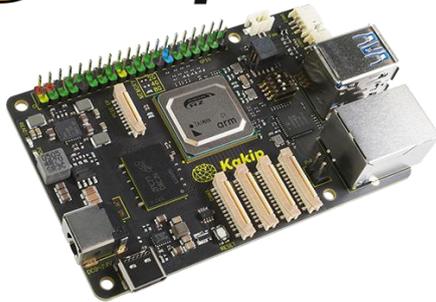
資本金 3,000万円

本社 大阪市北区西天満1-2-5 大阪JAビル 13階

Web Site <https://www.yuridenki.co.jp/>

エンベデッド製品事業部

横浜営業所ではキーストーン（要石）プロダクツとして画像処理に関わる製品を取り扱っております。それらを組み合わせてシナジーをご提供することを目標としています。



AI-SBC「Kakip」シリーズ

高性能AI画像処理でシステムの高度な分散処理や処理の高速化、省電力化に貢献します。

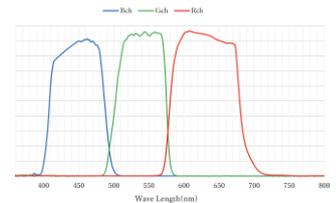
Kakipは以下の通販サイトからご購入いただけます

- マルツエレクトロニクス：www.marutsu.co.jp/pc/i/2835715/
- 秋月電子通商：www.akizukidenshi.com/catalog/g/g129611/

TYPE C



TYPE B



プリズム分光モジュール

スペクトラム、フォーカス位置、高速撮像など単板カメラで得られない画像価値を提供します。